

U.S. Indicators

発表日: 2025年1月20日(月)

米国 生産拡大も基調は依然弱い(12月鉱工業生産)

～ハイテク関連は堅調も自動車、一般機械などが停滞～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24年12月の鉱工業生産は、前月比+0.9%（前月同+0.2%）と市場予想中央値の同+0.3%を大幅に上回ったうえ、24年7月-11月に合計0.3%上方修正された。鉱業がガソリン需要の拡大等で同+1.8%（同▲0.5%）、公益が気温の低下等を受け同+2.1%（同▲0.7%）と増加に転じた。また、製造業が同+0.6%（同+0.4%）と加速、市場予想中央値の同+0.2%を上回ったうえ、24年7月-11月合計で0.3%上方修正されており、市場想定よりもかなり強い内容となった。製造業は、航空機メーカーでのストライキ終了のほか、底堅い需要を背景に拡大ペースが加速した。米民間航空機大手メーカーでのストライキが11月に終了し、12月に主力機種が生産が再開されたことで、航空機・同部品の生産が拡大し、航空宇宙・その他輸送機器は前月比+6.3%（前月+0.5%:速報▲2.6%から上方修正）と加速した。航空機・同部品は、12月の生産全体を+0.2%p押し上げた。

生産の基調をみると、3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率で製造業生産が12月に▲1.2%（前月▲2.1%）、鉱工業生産が同▲0.8%（前月▲2.4%）とマイナス幅を縮小した。7、9、10月のハリケーン襲来のほか、9、10月の民間航空機大手メーカーでのストライキによる生産活動の落ち込みの悪影響が弱まり始めているものの、生産の基調は依然弱い。

24年間の製造業生産は、9、10月の下振れの影響もあり前年比▲0.5%（23年▲0.5%）と2年連続で縮小し、鉱工業生産は▲0.3%（+0.2%）と減少に転じた。

12月の設備稼働率は、生産能力の拡大が続くなか、製造業が生産の拡大によって76.6%（前月76.2%）、鉱工業が77.6%（前月77.0%）と上昇した。ただし、引き続き製造業、鉱工業ともに23年よりも低い水準にとどまっている。

製造業の業種別生産動向を前月比でみると、縮小した業種は、縮小幅の大きい順に、家具・同関連製品（▲2.0%）、その他耐久財（▲1.0%）、コンピューター・電子（▲0.7%）、自動車・同部品（▲0.6%）、非鉄（▲0.6%）、木材製品（▲0.2%）、一般機械（▲0.2%）の7業種と前月の8業種から減少した。

一方、拡大した業種は、拡大幅の大きい順に、航空宇宙・その他輸送機器（+6.3%）、一次金属（+1.7%）、石油・石炭製品（+1.6%）、印刷・同サポート（+1.5%）、アパレル・皮革（+1.2%）、加工金属（+0.9%）、化学（+0.8%）、その他製造業（+0.8%）、食品・飲料・タバコ（+0.6%）、電気設備・機器・同部品（+0.5%）、紙パ（+0.3%）、プラスチック・ゴム（+0.2%）、繊維（+0.1%）の13業種（前月11業種）に増加した。また、ハイテク部門は、前月比+1.1%（前月0.0%）と加速した。

前年比で拡大した業種は、木材製品、一般機械、コンピューター・電子、電気設備・機器・同部

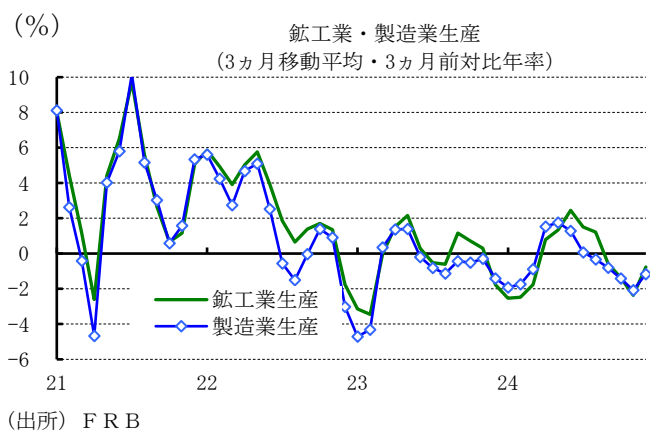
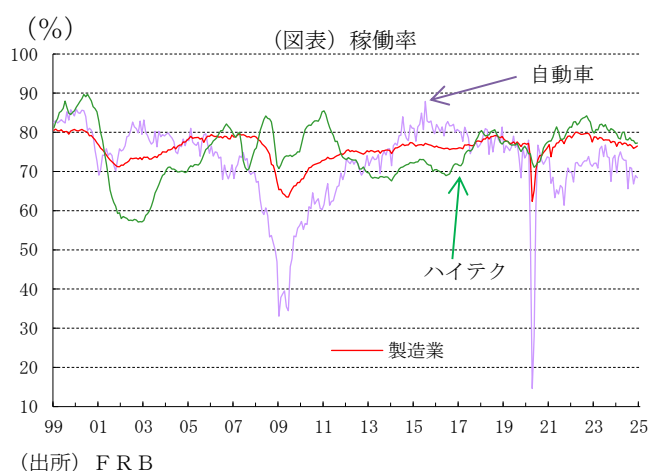
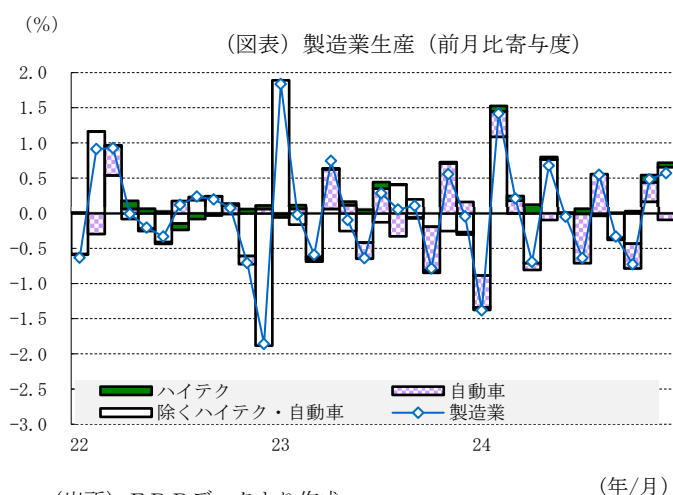


品、繊維、紙パ、印刷・同サポート、石油・石炭製品、化学の9業種にとどまり、製造業全体で+0.1%（前月▲0.5%）と小幅の拡大となった。

25年の製造業生産は、国内需要の緩やかな拡大が続くもと、先行き不透明感の払拭、循環的な拡大等を背景に、前年比+0.6%と小幅増加すると見込まれる。

鉱工業生産											
	鉱工業生産					設備稼働率			生産能力		
	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	全産業	製造業 (SIC)	自動車 関連	全産業	製造業 (SIC)	生産能力
24/01	▲1.1	(▲1.2)	▲1.3	▲4.3	+4.3	+0.2	▲1.4	▲5.9	+77.2	+76.5	+0.1
24/02	+1.2	(▲0.1)	+1.4	+4.3	▲3.6	▲0.3	+1.6	+5.8	+78.1	+77.5	+0.1
24/03	▲0.2	(▲0.3)	+0.2	▲0.6	▲2.4	+0.6	+0.1	+2.1	+77.8	+77.5	+0.1
24/04	▲0.2	(▲0.8)	▲0.7	▲0.1	+3.6	+3.1	▲0.8	▲2.0	+77.7	+76.9	+0.1
24/05	+0.6	(▲0.0)	+0.7	▲1.0	+2.3	+1.0	+0.5	▲0.5	+78.1	+77.3	+0.1
24/06	+0.3	(+0.9)	▲0.0	+0.8	+1.7	▲1.4	+0.1	+0.1	+78.2	+77.2	+0.1
24/07	▲0.7	(▲0.5)	▲0.7	▲0.5	▲1.3	+0.8	▲0.8	▲9.8	+77.6	+76.6	+0.1
24/08	+0.5	(▲0.1)	+0.6	+1.2	▲1.1	+1.7	+0.6	+8.6	+77.9	+77.0	+0.1
24/09	▲0.4	(▲0.7)	▲0.3	▲0.7	▲0.6	+0.1	▲0.2	▲0.2	+77.5	+76.6	+0.1
24/10	▲0.5	(▲0.5)	▲0.7	+0.1	+0.3	+0.8	▲1.1	▲5.4	+77.0	+76.0	+0.1
24/11	+0.2	(▲0.6)	+0.4	▲0.5	▲0.7	+0.0	+0.6	+3.4	+77.0	+76.2	+0.1
24/12	+0.9	(+0.5)	+0.6	+1.8	+2.1	+1.1	+0.6	▲0.6	+77.6	+76.6	+0.1

(注)カッコ内は前年比



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。